

事 務 連 絡
令和 7 年 7 月 1 4 日

管内バス・タクシー・トラック関係団体 御中

関東運輸局
自動車技術安全部 保安・環境課長
自 動 車 交 通 部 旅 客 第 一 課 長
旅 客 第 二 課 長
貨 物 課 長

台風第 5 号と低気圧に備えた体制の確保等について

標記について、物流・自動車局貨物流通事業課、安全政策課及び旅客課から別添（令和 7 年 7 月 14 日付け、事務連絡）のとおり通知があったので貴会会員に対し周知徹底をお願いします。

事 務 連 絡
令和 7 年 7 月 1 4 日

各地方運輸局自動車技術安全部 保安・環境調整官（保安・環境課長） 殿
各地方運輸局自動車交通部 旅客第一課長（旅客課長） 殿
貨物課長 殿
沖縄総合事務局運輸部 陸上交通課長 殿

物流・自動車局貨物流通事業課
安 全 政 策 課
旅 客 課

台風第 5 号と低気圧に備えた体制の確保等について

気象庁によると、台風第 5 号は発達しながら北上し、14 日夜にかけて三陸沖へ進み、15 日は北海道地方へ進み、オホーツク海で温帯低気圧に変わる見込みです。東日本と北日本では非常に強い風が吹いて海は大しけとなる所があります。

また、九州付近にある熱帯低気圧や日本海にある低気圧に向かって、暖かく湿った空気が流れ込むため、西日本では 15 日にかけて、東日本では 16 日にかけて、大気の状態が非常に不安定となり、大雨となる所があります。特に東海地方では、14 日夜のはじめ頃から 15 日昼前にかけて線状降水帯が発生して、大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。

これにより、東日本から北日本の太平洋側では、暴風や高波に警戒し、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に注意・警戒が必要です。

また、西日本では 15 日にかけて、東日本では 16 日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、15 日にかけて西日本から東日本の日本海側では潮位が高く、高潮に注意が必要です。

つきましては、管内のバス、トラック等の自動車運送事業者に対して、下記の点に留意するよう指導方よろしくお願いします。

なお、本件については、公益社団法人日本バス協会、一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会及び公益社団法人全日本トラック協会に対して、別途周知を行っていただきますので、必要に応じて連携を図るなどのご対応をお願いします。

記

- ・ 気象状況の把握に努め、輸送の安全確保に万全を期すること
- ・ 社内における連絡体制を確保すること
- ・ 安全運行が確保できないおそれがある場合は、運休や運行計画の変更などの指示を行うとともに、利用者に対して運休や運行計画の変更などの情報を発信すること
- ・ 車両の退避など出水への事前対応を実施すること

事 務 連 絡
令和7年7月14日

公益社団法人日本バス協会 御中
一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会 御中
公益社団法人全日本トラック協会 御中

国土交通省物流・自動車局貨物流通事業課
安 全 政 策 課
旅 客 課

台風第5号と低気圧に備えた体制の確保等について

気象庁によると、台風第5号は発達しながら北上し、14日夜にかけて三陸沖へ進み、15日は北海道地方へ進み、オホーツク海で温帯低気圧に変わる見込みです。東日本と北日本では非常に強い風が吹いて海は大しけとなる所があります。

また、九州付近にある熱帯低気圧や日本海にある低気圧に向かって、暖かく湿った空気が流れ込むため、西日本では15日にかけて、東日本では16日にかけて、大気の状態が非常に不安定となり、大雨となる所があります。特に東海地方では、14日夜のはじめ頃から15日昼前にかけて線状降水帯が発生して、大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。

これにより、東日本から北日本の太平洋側では、暴風や高波に警戒し、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に注意・警戒が必要です。

また、西日本では15日にかけて、東日本では16日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、15日にかけて西日本から東日本の日本海側では潮位が高く、高潮に注意が必要です。

つきましては、傘下会員に対して、下記の点に留意するよう周知方よろしく申し上げます。

記

- ・ 気象状況の把握に努め、輸送の安全確保に万全を期すること
- ・ 社内における連絡体制を確保すること
- ・ 安全運行が確保できないおそれがある場合は、運休や運行計画の変更などの指示を行うとともに、利用者に対して運休や運行計画の変更などの情報を発信すること
- ・ 車両の退避など出水への事前対応を実施すること

台風第5号による警戒と、低気圧による西日本から東日本の大雨について

参考

気象庁

(暴風や高波に警戒、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒)

令和7年7月14日10時45分

<ポイント>

台風第5号は発達しながら北上し、15日(火)にかけて東日本や北日本の太平洋側に接近し、北日本に上陸するおそれがある。また、熱帯低気圧や低気圧の影響により西日本から東日本の太平洋側では、14日(月)から16日(水)頃にかけて大雨となる所がある。東海地方では、14日夜のはじめ頃から15日昼前にかけて線状降水帯が発生する可能性がある。

<概況>

台風第5号は発達しながら北上し、14日夜にかけて三陸沖へ進み、15日は北海道地方へ進み、オホーツク海で温帯低気圧に変わる見込み。東日本と北日本では非常に強い風が吹いて海は大しけとなる所がある。

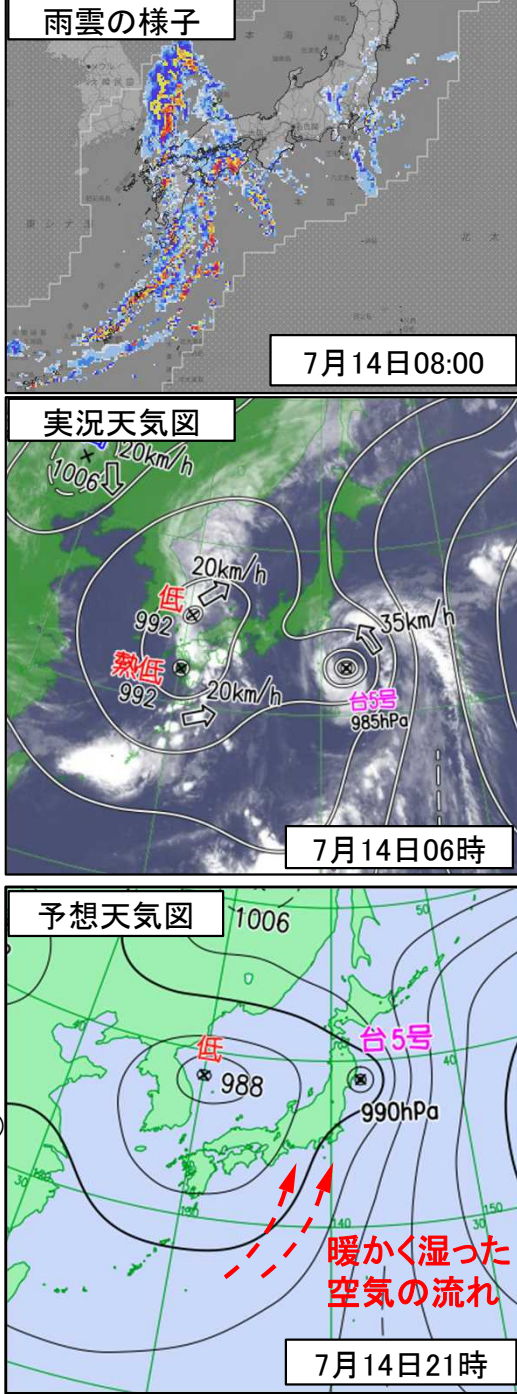
また、九州付近にある熱帯低気圧や日本海にある低気圧に向かって、暖かく湿った空気が流れ込むため、西日本では15日にかけて、東日本では16日にかけて、大気の状態が非常に不安定となり、大雨となる所がある。特に東海地方では、14日夜のはじめ頃から15日昼前にかけて線状降水帯が発生して、大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。

<警戒事項>

東日本から北日本の太平洋側では、暴風や高波に警戒し、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に注意・警戒。西日本では15日にかけて、東日本では16日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。また、15日にかけて西日本から東日本の日本海側では潮位が高く、高潮に注意。

<奄美地方の天気について>

奄美地方では14日は土砂災害、高波、雷や突風に注意。



台風情報(第5号)
(14日09時)

15日09時(予想)
中心気圧:998hPa
最大風速:18m/s
最大瞬間風速:25m/s

14日21時(予想)
中心気圧:985hPa
最大風速:30m/s
最大瞬間風速:40m/s

14日09時現在(実況)
中心気圧:985hPa
最大風速:25m/s
最大瞬間風速:35m/s

【警戒級となる可能性のある期間】

日	時	14日	15日	16日	17日
		6~18	18~6	6~24	
北日本	北海道地方	大雨			
		暴風			
		波浪			
	東北地方	大雨			
東日本	東北地方	暴風			
		波浪			
	関東甲信地方	大雨			
		波浪			
東日本	伊豆諸島	大雨			
		波浪			
	小笠原諸島	大雨			
	北陸地方	高潮			
西日本	東海地方	大雨			
	近畿地方	高潮			
	中国地方	大雨			
	高潮				
西日本	四国地方	大雨			
	九州北部地方	大雨			
	九州南部	大雨			
	沖縄・奄美	大雨			

(●可能性がある、■可能性が高い)

【大雨の見通し】(単位:mm 多いところ)

地域	15日12時までの 24時間雨量	16日12時までの 24時間雨量
北海道地方	120	50
東北地方	120	60
関東甲信地方	150	150
伊豆諸島	80	80
小笠原諸島	80	50未満
東海地方	250	150
近畿地方	200	100
中国地方	80	50未満
四国地方	150	50
九州北部地方	50	50
九州南部	50未満	50未満
奄美地方	50未満	50未満

【暴風・高波の見通し】(単位:(風):メートル毎秒 (波):メートル)

地域	14日	15日
	最大風速 (最大瞬間風速)	最大風速 (最大瞬間風速)
北海道地方	15(25)	23(35)
東北地方	25(35)	20(25)
関東甲信地方	25(35)	15(25)
伊豆諸島	15(25)	15(25)
小笠原諸島	15(25)	13(25)